

高耐久性ポリウレア樹脂による表面ライニング目地補修工法

HSPU目地工法



HSPU目地工法は、既設水路目地を、新開発の高伸縮シーリング材と高耐久性緩硬化塗布型ポリウレア目地材の組み合わせで、躯体と一体化を計り、伸縮機能と止水機能を長期にわたり維持することが出来る目地補修工法です。

HSPU目地工法の特性

- ① 目地補修工法の充填工法と表面塗布工法の併用工法です。
- ② 優れた耐久性樹脂被膜では高強度と言われているポリウレア被膜を採用しています。
- ③ 通常の目地補修と比べ、耐摩耗性に優れています。
- ④ 安定した止水性特殊変成シーリング材との複合被膜で、止水性、接着性、伸縮性に優れています。
- ⑤ 全方向に対する伸縮性温度変化による伸縮追従性、水路の不等沈下、側壁の変位にも追従します。
- ⑥ 目地付近の不陸が大きい場合、不陸調整を別途必要とします。

HSPU目地工法の物性

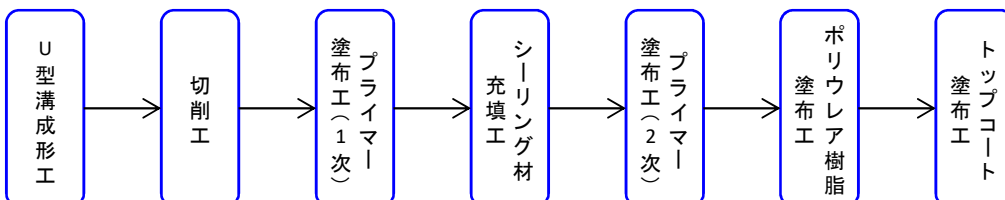
物性値一覧

項目	特性値
耐水性 (50℃温水浸漬7日間)	外観異常なし
耐摩耗性 (JIS K 7204)	0.4g/1,000回
促進耐候性 (JIS K 5656)	100%/1000h
	88%/2000h

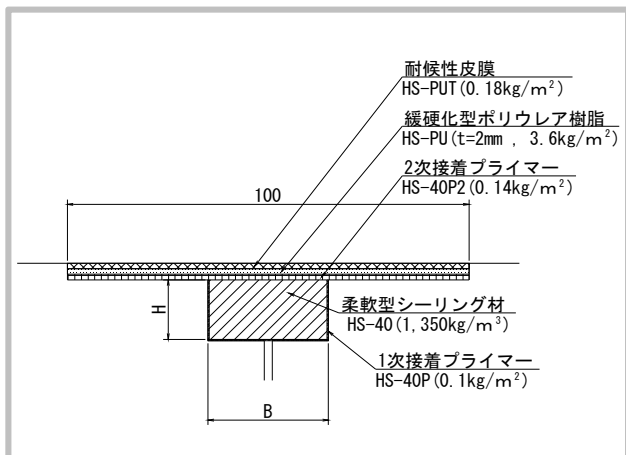
項目	特性値	
伸縮疲労試験	伸び+1.0mm	5,000サイクル (異常なし)
	縮み-1.0mm	
	伸び+1.5mm	5,000サイクル (異常なし)
	縮み-1.5mm	
	伸び+2.0mm	11,000サイクル (異常なし)
	縮み-2.0mm	

※上記の値は、試験結果の代表値であり、品質保証値および規格値ではありません。

HSPU目地工法 施工フロー



農業水利施設補修例



施工断面図



① U字溝成形工
② 切削工



③ プライマー塗布工(1次)
④ シーリング材充填工



⑤ プライマー塗布工(2次)
⑥ ポリウレタ樹脂塗布工



⑦ トップコート塗布工



施工完了

この内容は2019年7月現在のものです